

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和2年度～令和6年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひだか） 日高森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 ひだかほくぶ 日高北部森林管理署 ひだかなんぶ 日高南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南部に位置し、日高振興局管内の6町に所在する国有林野約234千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約10%にあたる約24千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約86%となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の森林の約90%がトドマツ・エゾマツ・ミズナラ・イタヤカエデ等が混交する天然林で占められ、約10%が主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。また、天然林にはバットの材料となるアオダモも生育している。これらの森林の一部は優れた自然環境及び自然景観を有し、日高山脈中央部森林生態系保護地域や日高山脈襟裳^{えりも}国定公園をはじめ、道の「すぐれた自然地域」等の指定地域である。</p> <p>本地域の国有林野は、水源かん養を目的とした保安林を主体にほぼ全域が保安林に指定され、地域の生活用水として、さらに水力発電用のダムが多く立地していることからその水源として重要な役割を担っているほか、山岳、渓谷、豊かな森林景観等豊富な観光資源に恵まれていることから、登山等のレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、本地域においては、急峻な日高山脈から流れ出る各河川に沿って農業が営まれているほか、下流の河口部では貴重な本シシャモの漁場となっており、河川の水質を巡って森林整備に対する期待が高まっている。</p> <p>本事業は、これら地域の期待に応えるとともに、これまでの評価結果を踏まえ、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入等を図り、低コストで効率的な作業システムを確立しながら、水源涵養^{かん}、山地保全、二酸化炭素の固定等森林の有する多面的機能の発揮に必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>697 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>16,800 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>29.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.04 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 5,060,490 千円（税抜き 4,600,445 千円）</p>			森林整備	更新	面積	697 ha		保育	面積	16,800 ha	路網整備	開設	延長	29.5 km		改良	延長	0.04 km
森林整備	更新	面積	697 ha																
	保育	面積	16,800 ha																
路網整備	開設	延長	29.5 km																
	改良	延長	0.04 km																
費用便益分析	総便益（B）	37,684,349 千円																	
	総費用（C）	6,659,517 千円																	
	分析結果（B/C）	5.66																	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であるとする。																		

評価結果

- ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源地としての役割や、地域の基幹産業である農業等に資する観点から、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。また、急峻な地形であることから、山地保全の役割が求められている地域であり、地球温暖化防止対策や広葉樹を含む木材の安定供給と有効活用のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。
- ・効率性： 路網整備においては、本地域特有の急傾斜地形及び脆弱な地質に留意した工種及び作業仕様による開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスを向上させ、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。
- ・有効性： 本事業により、森林が健全な状態に維持され、水源涵養、山地保全、二酸化炭素の固定等の公益的機能の発揮が期待される。また、効率的な森林整備により、地域の基幹産業である農業の振興にも資することや、これまでの評価結果を踏まえた事業内容となっており、事業の有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

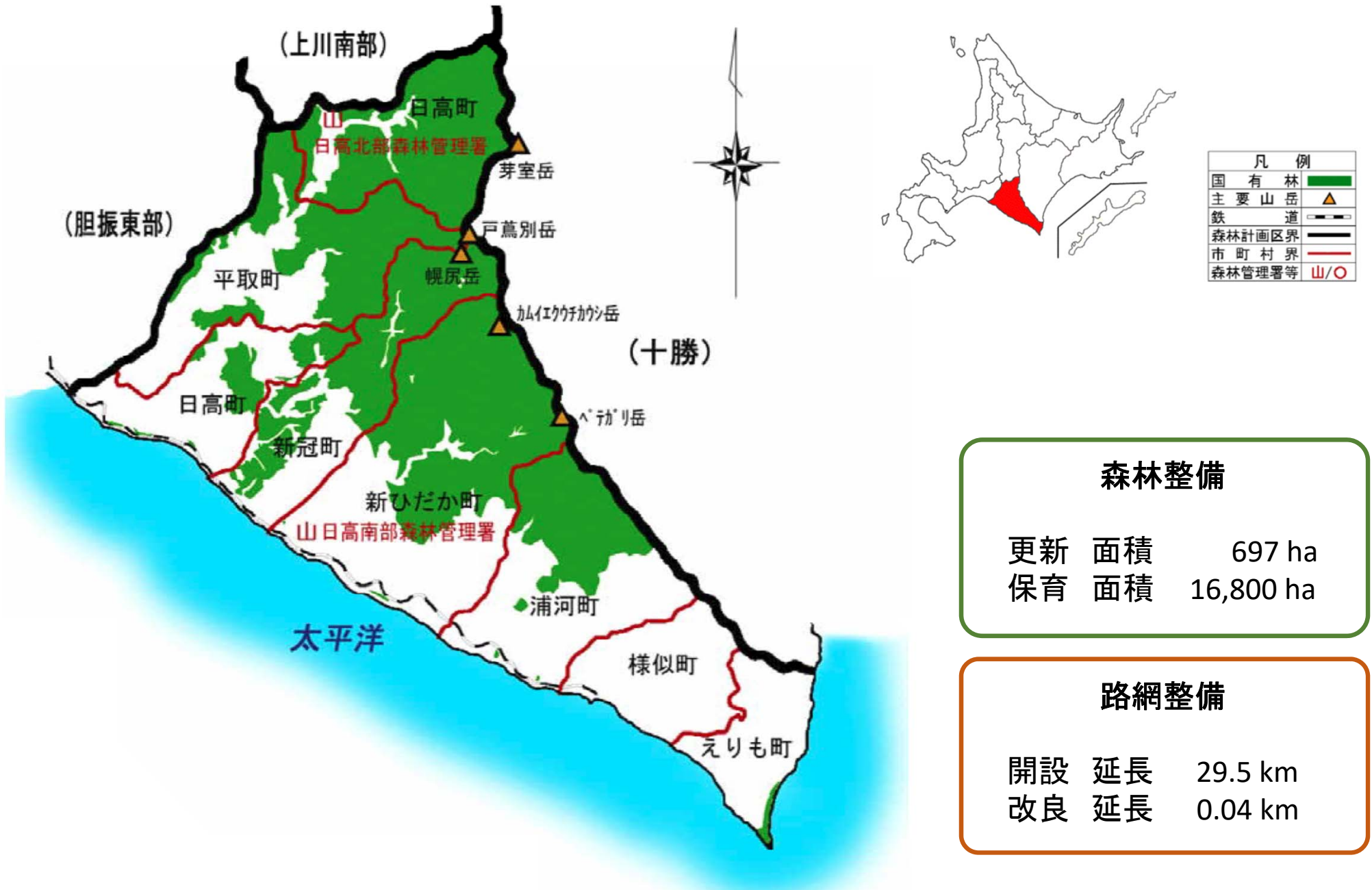
都道府県名：北海道

施行箇所：日高森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,404,402	
	流域貯水便益	2,896,961	
	水質浄化便益	10,342,804	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,518,111	
環境保全便益	炭素固定便益	2,911,395	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	252,109	
	木材利用増進便益	177,560	
	木材生産確保・増進便益	809,445	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	65,968	
	森林整備促進便益	305,594	
総 便 益 (B)		37,684,349	
総 費 用 (C)		6,659,517	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,684,349}{6,659,517} = 5.66$		

森林環境保全整備事業 日高森林計画区 事業概要図



森林整備

更新	面積	697 ha
保育	面積	16,800 ha

路網整備

開設	延長	29.5 km
改良	延長	0.04 km